

いのちの やささき

文・写真／宮崎雅子

夜明けの世界

陣痛が始まり丸1日 赤ちゃんが生まれる気配はない
気持ちは落ち込んでゆき 不安がつのった
助産師さんに勧められ 温かなお湯に浸かると
次第に陣痛が強くなった
夜が明ける頃 お湯の中で
^{あみ}天海ちゃんは生まれでた
夫は黙って手を握り ずっと後ろで身体を支えてくれた
心の底からほっとし 生まれた安心感で身体の力が抜ける
我が子はおなかの上で ゆっくりと目を開けた



みやざき まさこ 写真家。共著書に「いのちを産む」(学研), 写真集に「ベビーサイエンス」(メディカ出版), 「胎動」(ショパン), DVD「いのちの訪れ」(UTEKIANI)など。出産や赤ちゃんなどいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。